

2026.4.1

東京都高体連陸上競技専門部

競技委員会

台風等悪天候、ウィルス感染拡大などにより危険がともなう場合の支部予選会実施について

安全面の確保を最優先とし、各支部の状況に応じて対応するとともに下記の事項を適用して都大会の進出者を決定する。

1. 予備日や翌日を含めて競技日程を組み替えて実施できる場合

可能な限り当初予定のラウンド、正規の試技回数をを行い、都大会進出者を決定する。

2. 予備日の設定がなく後日実施ができない場合

① 朝の段階では実施に問題ないが、午後または夕刻から警報等の危険が伴うほどの悪天候が予報されている場合等

- ・競技時間を短縮し、可能な限り早く競技会を終了させて帰宅させることを目標とする。
- ・都大会進出者を決めるにあたっては、トラック競技はタイムレースにて上位8名を、フィールド競技は3回の試技にてトップ8選出段階で都大会進出者決定として競技を終了させる。
- ・エントリー数が8名または8名に満たない種目は、招集に来た者は出場意志ありとして競技は実施せずそのまま都大会進出の権利を得られるものとする。

② 予備日がなく、またはウィルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令等で支部予選会そのものまたは一部種目の実施が不可能な場合

実施できなかった種目について支部予選会にエントリーした者の中で※公認記録(申込時の記録)によって各支部のランキングにより上位8名を都大会進出者とする。

※従って、支部予選申込み時には公認記録の自己最高記録でエントリーすること(追風参考記録は不可)。最高記録を申告しなかった場合には不利な扱いを受けることになります。また、最高記録を偽ってエントリーした場合は、以後の参加を認めない。